

## 第2章 高齢者をめぐる主な現状と課題

- 1 人口構造・高齢化率
- 2 高齢者の世帯の状況
- 3 高齢者の生活と住まいの状況
- 4 要介護認定者の状況
- 5 高齢者の受診・疾病の状況

この章では、各種統計データに基づいて、京都府の高齢者をめぐる現状と課題を明らかにします。



## 第2章 高齢者をめぐる主な現状と課題

### 1 人口構造・高齢化率

#### この項目のポイント

- ▶ 総人口がゆるやかに減少する中、高齢者数は増加し高齢化率は上昇を続ける
- ▶ 京都府の高齢化率は全国を上回る
- ▶ 山城南圏域の高齢化率は低く、丹後・中丹圏域の高齢化率は高い
- ▶ 特に75歳以上、85歳以上の高齢者人口は今後も大きく増加

#### (1) 全国の様況

- 我が国では、平均寿命の伸長や少子化を反映して、高齢化が急速に進んでおり、国勢調査の高齢化率の推移を見ると、平成17（2005）年が20.1%、平成22（2010）年が22.8%、平成27（2015）年が26.3%と顕著に表れています。（図表2-1）
- 平成27（2015）年の総人口は1億2,709万人で、平成22（2010）年と比べ約97万人（0.8%）の減少となっている一方で、65歳以上の高齢者人口は3,347万人で、422万人（12.6%）の増加となっています。（図表2-1）

【図表2-1 総人口と高齢者人口の推移（全国）】

（単位：万人）

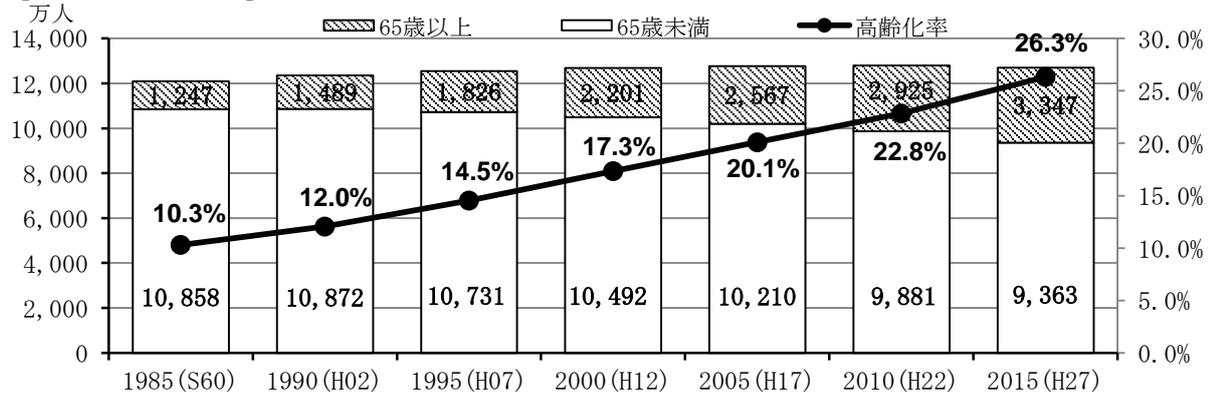
	総人口			（参考：京都府）
		高齢者人口	高齢化率	高齢化率
1985(昭和60)年	12,105	1,247	10.3%	11.2%
1990(平成2)年	12,361	1,489	12.0%	12.6%
1995(平成7)年	12,557	1,826	14.5%	14.7%
2000(平成12)年	12,693	2,201	17.3%	17.4%
2005(平成17)年	12,777	2,567	20.1%	20.0%
2010(平成22)年	12,806	2,925	22.8%	23.0%
2015(平成27)年	12,709	3,347	26.3%	26.9%

注1：数値は国勢調査による

注2：高齢化率は過去の統計にあわせるため、総人口に年齢不詳を含めて算出している

第2章

【図表2-1 グラフ】



- 将来推計としては、2025年にはいわゆる「団塊の世代」が75歳に到達し、後期高齢者が急増することが見込まれ、高齢者人口は2040年に3,900万人を超えてピークを迎えますが、現役世代の減少により高齢化率はその後も上昇を続けることが予想されます。(図表2-2)
- また、前期高齢者人口は2020年頃をピークに一旦減少に転じますが、後期高齢者人口は増加を続け、2040年には総人口の5人に1人が後期高齢者となり、その後も増加が続くと見込まれています。(図表2-2)

【図表2-2 総人口と高齢者人口の将来推計(全国)】

(単位：万人)

	総人口(A)	高齢者人口(B)		前期高齢者(C)		後期高齢者(D)	
		(高齢化率)	構成C/A	構成D/A			
					前期高齢者(C)	後期高齢者(D)	
2015 (H27) 年	12,709	3,347 (26.3%)	1,734 13.6%	1,613 12.7%			
2020年	12,532	3,619 (28.9%)	1,747 13.9%	1,872 14.9%			
2025年	12,254	3,677 (30.0%)	1,497 12.2%	2,180 17.8%			
2030年	11,913	3,716 (31.2%)	1,428 12.0%	2,288 19.2%			
2035年	11,522	3,782 (32.8%)	1,522 13.2%	2,260 19.6%			
2040年	11,092	3,921 (35.3%)	1,681 15.2%	2,239 20.2%			
2045年	10,642	3,919 (36.8%)	1,643 15.4%	2,277 21.4%			
2050年	10,192	3,841 (37.7%)	1,424 14.0%	2,417 23.7%			

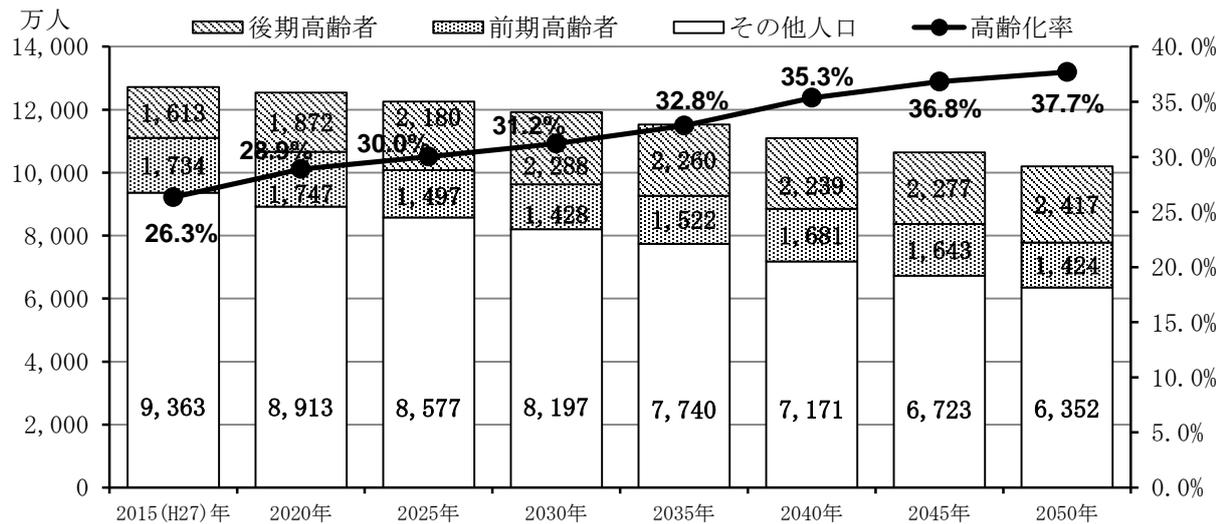
注1：2015 (H27)年は国勢調査による

注2：2015 (H27)年の高齢化率は、過去の統計に合わせるため総人口に年齢不詳を含めている

注3：2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成29年推計)」による

注4：端数処理のため、数値の合計は一致しない場合がある(以下、図表共通)

【図表2-2 グラフ】



## 第2章

### (2) 京都府の状況

- 平成27年の国勢調査によると、京都府の65歳以上の高齢者人口及び高齢化率は703,419人、26.9%となっており、全国の高齢化率26.3%を上回っています。(図表2-3)

【図表2-3 圏域別の総人口と高齢者人口の推移(京都府)】 (単位:人)

		合 計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
1985 (S60) 年	総人口	2,586,574	130,467	223,735	140,187	1,623,393	400,473	68,319
	65歳以上	289,629 (11.2%)	21,556 (16.5%)	33,203 (14.8%)	18,372 (13.1%)	178,454 (11.0%)	29,789 (7.4%)	8,255 (12.1%)
	75歳以上	116,279 (4.5%)	8,991 (6.9%)	13,219 (5.9%)	7,591 (5.4%)	71,895 (4.4%)	11,220 (2.8%)	3,363 (4.9%)
1990 (H2) 年	総人口	2,602,460	125,492	219,719	147,759	1,607,374	422,785	79,331
	65歳以上	327,429 (12.6%)	24,128 (19.2%)	37,841 (17.2%)	21,121 (14.3%)	197,437 (12.3%)	37,092 (8.8%)	9,810 (12.4%)
	75歳以上	142,397 (5.5%)	10,700 (8.5%)	16,101 (7.3%)	9,122 (6.2%)	86,977 (5.4%)	15,307 (3.6%)	4,190 (5.3%)
1995 (H7) 年	総人口	2,629,592	121,445	217,320	156,104	1,611,688	435,740	87,295
	65歳以上	386,976 (14.7%)	27,583 (22.7%)	44,615 (20.5%)	25,628 (16.4%)	229,528 (14.2%)	47,553 (10.9%)	12,069 (13.8%)
	75歳以上	162,555 (6.2%)	11,980 (9.9%)	18,752 (8.6%)	10,670 (6.8%)	97,634 (6.1%)	18,556 (4.3%)	4,963 (5.7%)
2000 (H12) 年	総人口	2,644,391	117,559	216,051	156,787	1,614,792	442,739	96,463
	65歳以上	459,273 (17.4%)	30,594 (26.0%)	49,713 (23.0%)	29,862 (19.0%)	273,531 (16.9%)	60,927 (13.8%)	14,646 (15.2%)
	75歳以上	194,202 (7.3%)	13,983 (11.9%)	21,986 (10.2%)	12,945 (8.3%)	115,785 (7.2%)	23,429 (5.3%)	6,074 (6.3%)
2005 (H17) 年	総人口	2,647,660	111,859	211,465	147,625	1,623,378	445,108	108,225
	65歳以上	530,350 (20.0%)	32,305 (28.9%)	53,014 (25.1%)	31,324 (21.2%)	318,920 (19.6%)	76,871 (17.3%)	17,916 (16.6%)
	75歳以上	242,033 (9.1%)	16,788 (15.0%)	27,207 (12.9%)	15,369 (10.4%)	143,317 (8.8%)	31,187 (7.0%)	8,165 (7.5%)
2010 (H22) 年	総人口	2,636,092	104,850	204,157	143,345	1,623,308	445,855	114,577
	65歳以上	605,709 (23.0%)	33,242 (31.7%)	55,977 (27.4%)	34,971 (24.4%)	362,401 (22.3%)	96,972 (21.7%)	22,146 (19.3%)
	75歳以上	286,195 (10.9%)	18,659 (17.8%)	30,456 (14.9%)	17,654 (12.3%)	169,717 (10.5%)	39,784 (8.9%)	9,925 (8.7%)
2015 (H27) 年	総人口	2,610,353	97,424	196,746	137,077	1,623,834	438,080	117,192
	65歳以上	703,419 (26.9%)	35,258 (36.2%)	60,663 (30.8%)	40,183 (29.3%)	420,110 (25.9%)	119,381 (27.3%)	27,824 (23.7%)
	75歳以上	329,552 (12.6%)	19,350 (19.9%)	31,486 (16.0%)	19,313 (14.1%)	197,904 (12.2%)	49,838 (11.4%)	11,661 (10.0%)

注1: 数値は各年の国勢調査による

注2: 表中の( )は総人口に対する割合を示す

注3: 高齢化率は過去の統計にあわせるため、総人口に年齢不詳を含め計算している

- 当計画期間内の高齢者人口の将来推計は、2020年には高齢者人口が約74万人となり、2018（平成30）年からの2年間で約4千人増え、高齢化率は28.7%となる見通しです。（図表2-4）
- また、丹後、中丹、南丹圏域では高齢化率が高く、京都・乙訓、山城北圏域では低くなっており、この傾向は当面続く見通しとなっています。（図表2-4）

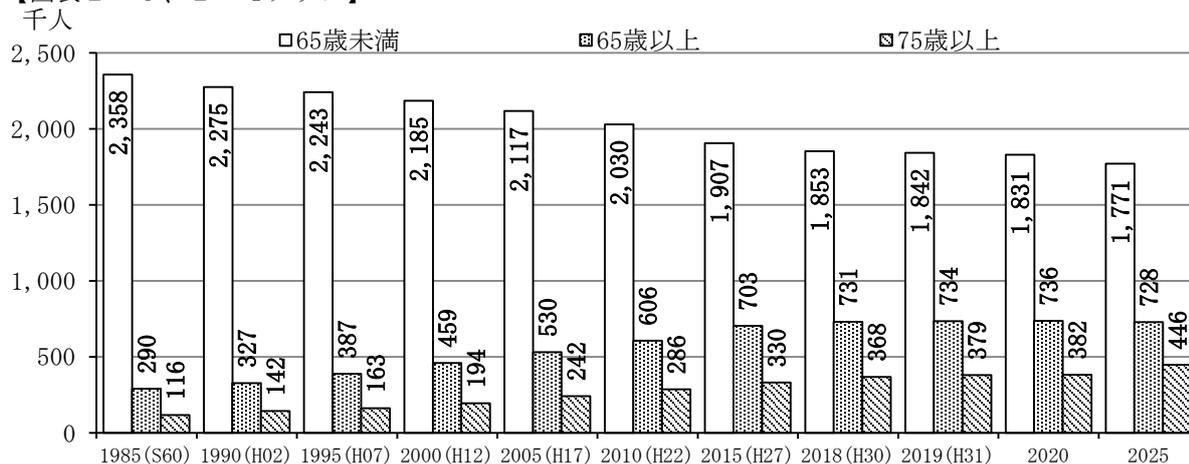
【図表2-4 第8次計画期間と2025年の圏域別の総人口と高齢者人口の将来推計（京都府）】

		合計							(単位：人)	
			丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南		
2018 (H30) 年	総人口	2,584,256	93,696	191,067	134,792	1,609,211	436,077	119,413		
	65歳以上	731,240 (28.3%)	35,660 (38.1%)	61,203 (32.0%)	42,775 (31.7%)	434,327 (27.0%)	126,416 (29.0%)	30,859 (25.8%)		
	75歳以上	368,253 (14.2%)	19,821 (21.2%)	32,607 (17.1%)	21,197 (15.7%)	221,857 (13.8%)	58,869 (13.5%)	13,902 (11.6%)		
	85歳以上	114,141 (4.4%)	7,805 (8.3%)	12,054 (6.3%)	7,231 (5.4%)	67,269 (4.2%)	15,612 (3.6%)	4,170 (3.5%)		
2019 (H31) 年	総人口	2,575,561	92,455	189,175	134,030	1,604,340	435,409	120,152		
	65歳以上	733,753 (28.5%)	35,500 (38.4%)	60,935 (32.2%)	43,235 (32.3%)	435,388 (27.1%)	127,293 (29.2%)	31,402 (26.1%)		
	75歳以上	379,232 (14.7%)	19,976 (21.6%)	32,903 (17.4%)	21,771 (16.2%)	228,287 (14.2%)	61,739 (14.2%)	14,556 (12.1%)		
	85歳以上	118,372 (4.6%)	7,870 (8.5%)	12,236 (6.5%)	7,387 (5.5%)	70,093 (4.4%)	16,486 (3.8%)	4,300 (3.6%)		
2020 年	総人口	2,566,846	91,210	187,279	133,267	1,599,457	434,741	120,892		
	65歳以上	735,557 (28.7%)	35,340 (38.7%)	60,631 (32.4%)	43,581 (32.7%)	436,042 (27.3%)	128,038 (29.5%)	31,925 (26.4%)		
	75歳以上	382,482 (14.9%)	19,717 (21.6%)	32,808 (17.5%)	21,899 (16.4%)	229,757 (14.4%)	63,354 (14.6%)	14,946 (12.4%)		
	85歳以上	122,331 (4.8%)	7,817 (8.6%)	12,352 (6.6%)	7,562 (5.7%)	72,800 (4.6%)	17,359 (4.0%)	4,441 (3.7%)		
2025 年	総人口	2,499,460	84,578	178,181	127,336	1,564,641	422,830	121,894		
	65歳以上	727,558 (29.1%)	33,813 (40.0%)	58,270 (32.7%)	43,735 (34.3%)	431,081 (27.6%)	126,978 (30.0%)	33,681 (27.6%)		
	75歳以上	446,086 (17.8%)	20,750 (24.5%)	35,908 (20.2%)	25,634 (20.1%)	266,204 (17.0%)	78,257 (18.5%)	19,332 (15.9%)		
	85歳以上	137,685 (5.5%)	7,645 (9.0%)	12,235 (6.9%)	8,021 (6.3%)	83,244 (5.3%)	21,340 (5.0%)	5,200 (4.3%)		

注：数値は市町村報告値の集計による

## 第2章

【図表2-3、2-4 グラフ】



- 高齢者人口の長期的な将来推計を見ると、2045年には高齢化率が37.8%に達する見通しです。また、後期高齢者の割合も2030年には20%を超え、5人に1人が後期高齢者となると見込まれています。（図表2-5）
- 高齢者人口の長期的な将来推計を年代別・圏域別に見てみると、65歳以上人口は今後「緩やかに増加～減少」する見通しである一方で、85歳以上人口は京都府全体で2035年に2015年の約2.2倍に達し、圏域別に見ると約3倍近くに達する圏域もあると予測されています。（図表2-5）

【図表2-5 総人口と高齢者人口の将来推計（京都府）】

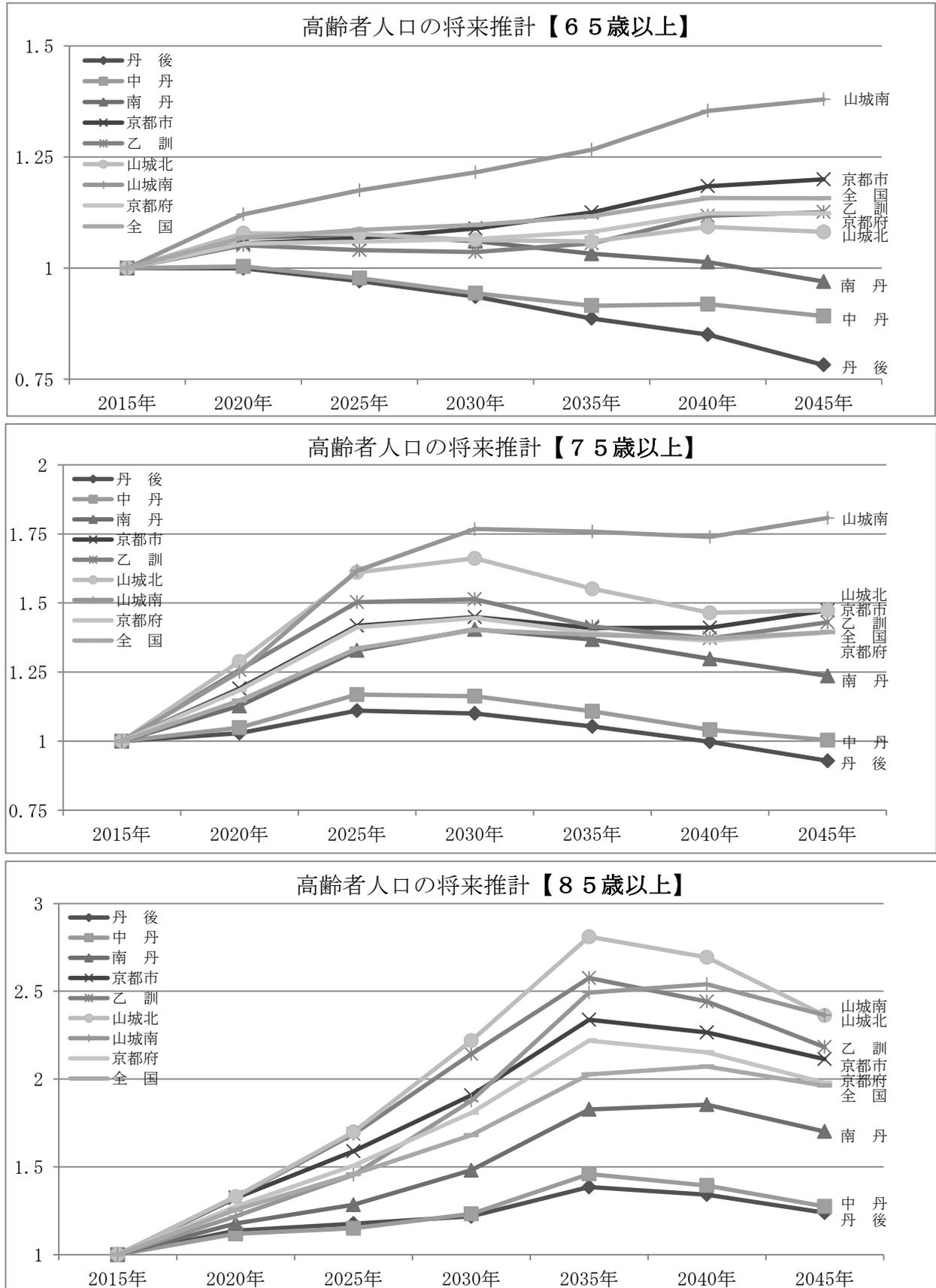
(単位：人)

		合計	丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
2015 (H27) 年	総人口	2,610,353	97,424	196,746	137,077	1,623,834	438,080	117,192
	65歳以上	718,949 (27.5%)	35,297 (36.2%)	61,105 (31.1%)	40,634 (29.6%)	433,025 (26.7%)	120,873 (27.6%)	28,015 (23.9%)
	75歳以上	337,422 (12.9%)	19,368 (19.9%)	31,722 (16.1%)	19,524 (14.2%)	204,494 (12.6%)	50,554 (11.5%)	11,760 (10.0%)
	85歳以上	101,909 (3.9%)	7,062 (7.2%)	11,261 (5.7%)	6,474 (4.7%)	60,323 (3.7%)	13,239 (3.0%)	3,550 (3.0%)
2020 年	総人口	2,573,772	89,911	188,070	130,269	1,620,286	426,780	118,456
	65歳以上	758,749 (29.5%)	35,277 (39.2%)	61,329 (32.6%)	43,421 (33.3%)	456,935 (28.2%)	130,377 (30.5%)	31,410 (26.5%)
	75歳以上	399,606 (15.5%)	19,918 (22.2%)	33,272 (17.7%)	22,017 (16.9%)	244,577 (15.1%)	65,120 (15.3%)	14,702 (12.4%)
	85歳以上	129,959 (5.0%)	8,025 (8.9%)	12,594 (6.7%)	7,625 (5.9%)	79,770 (4.9%)	17,619 (4.1%)	4,326 (3.7%)
2025 年	総人口	2,509,875	82,524	178,867	122,729	1,596,673	410,957	118,125
	65歳以上	761,704 (30.3%)	34,268 (41.5%)	59,737 (33.4%)	43,696 (35.6%)	460,922 (28.9%)	130,160 (31.7%)	32,921 (27.9%)
	75歳以上	476,328 (19.0%)	21,500 (26.1%)	37,059 (20.7%)	25,941 (21.1%)	291,381 (18.2%)	81,439 (19.8%)	19,008 (16.1%)
	85歳以上	153,532 (6.1%)	8,309 (10.1%)	12,951 (7.2%)	8,316 (6.8%)	96,300 (6.0%)	22,493 (5.5%)	5,163 (4.4%)
2030 年	総人口	2,430,849	75,363	169,565	114,812	1,563,609	391,084	116,416
	65歳以上	765,958 (31.5%)	33,025 (43.8%)	57,654 (34.0%)	43,091 (37.5%)	469,585 (30.0%)	128,548 (32.9%)	34,055 (29.3%)
	75歳以上	487,788 (20.1%)	21,309 (28.3%)	36,871 (21.7%)	27,427 (23.9%)	297,388 (19.0%)	84,003 (21.5%)	20,790 (17.9%)
	85歳以上	184,199 (7.6%)	8,602 (11.4%)	13,879 (8.2%)	9,586 (8.3%)	116,109 (7.4%)	29,363 (7.5%)	6,660 (5.7%)
2035 年	総人口	2,338,843	68,363	160,068	106,370	1,521,659	368,666	113,717
	65歳以上	777,428 (33.2%)	31,302 (45.8%)	55,939 (34.9%)	41,943 (39.4%)	484,637 (31.8%)	128,128 (34.8%)	35,479 (31.2%)
	75歳以上	469,568 (20.1%)	20,401 (29.8%)	35,155 (22.0%)	26,703 (25.1%)	288,210 (18.9%)	78,417 (21.3%)	20,682 (18.2%)
	85歳以上	226,191 (9.7%)	9,783 (14.3%)	16,437 (10.3%)	11,831 (11.1%)	142,084 (9.3%)	37,206 (10.1%)	8,850 (7.8%)
2040 年	総人口	2,238,226	61,417	150,409	97,553	1,473,092	345,367	110,388
	65歳以上	807,559 (36.1%)	30,012 (48.9%)	56,153 (37.3%)	41,187 (42.2%)	510,176 (34.6%)	132,101 (38.2%)	37,930 (34.4%)
	75歳以上	459,982 (20.6%)	19,325 (31.5%)	33,022 (22.0%)	25,339 (26.0%)	287,804 (19.5%)	74,040 (21.4%)	20,452 (18.5%)
	85歳以上	219,294 (9.8%)	9,475 (15.4%)	15,696 (10.4%)	12,006 (12.3%)	137,440 (9.3%)	35,657 (10.3%)	9,020 (8.2%)
2045 年	総人口	2,136,807	54,774	141,149	88,959	1,421,893	323,166	106,866
	65歳以上	807,481 (37.8%)	27,605 (50.4%)	54,522 (38.6%)	39,398 (44.3%)	516,588 (36.3%)	130,718 (40.4%)	38,650 (36.2%)
	75歳以上	470,263 (22.0%)	17,987 (32.8%)	31,826 (22.5%)	24,137 (27.1%)	300,548 (21.1%)	74,509 (23.1%)	21,256 (19.9%)
	85歳以上	201,626 (9.4%)	8,749 (16.0%)	14,347 (10.2%)	11,016 (12.4%)	127,847 (9.0%)	31,274 (9.7%)	8,393 (7.9%)

注：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年推計）」による

第2章

【図表2-5 グラフ 2015年の人口を1とした場合の高齢者人口の増加率】

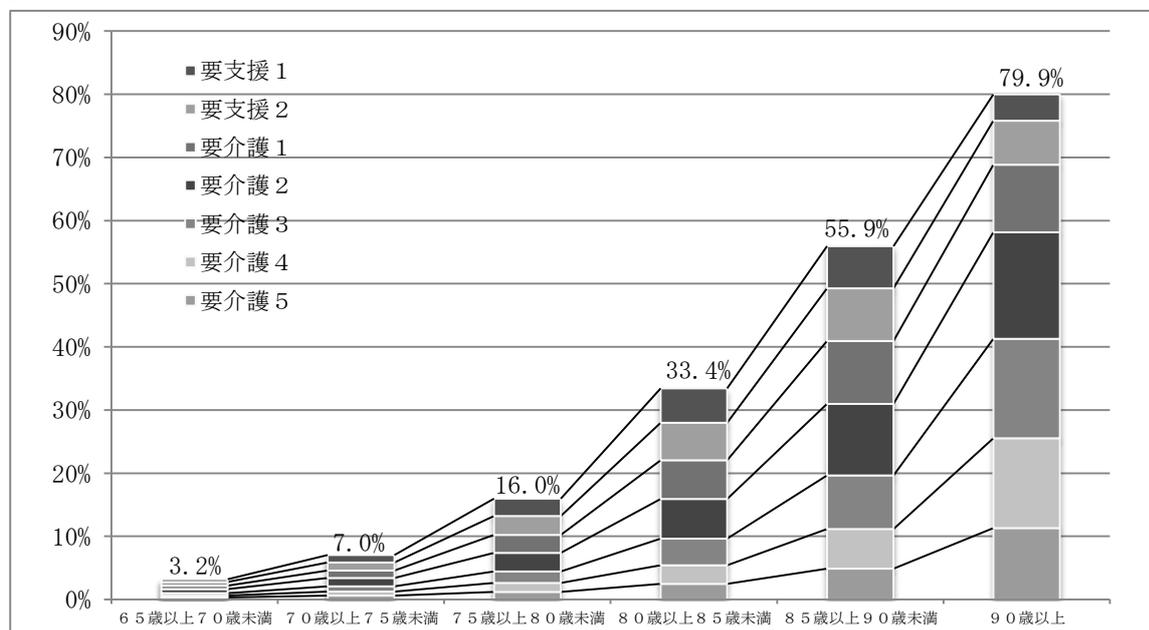


注：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30(2018)年推計）」による

□ 要介護認定率を年齢階級別・要介護度別で見ると、75歳以上80歳未満では16%に留まっていますが、80歳以上85歳未満では約1/3が要介護認定を受けており、85歳以上90歳未満では過半数を超え、90歳以上では約8割が要介護認定を受けています。

特に、要介護3以上に絞って見ると、80歳以上85歳未満で約1割、85歳以上90歳未満で約2割、90歳以上で約4割となっています。（図表2-6）

【図表2-6 要介護認定率（年齢階級別・要介護度別）（京都府）〔概算〕】



注1：介護保険事業状況報告平成27年9月月報 及び 京都府統計書（平成27年10月1日現在年齢階級別人口）から概算

## 2 高齢者の世帯の状況

### この項目のポイント

- ▶ 高齢夫婦世帯、高齢単身世帯が大きく増加し総世帯数の約1/4を占める
- ▶ 特に、丹後地域、中丹地域は高い状況

### (1) 全国の状況

- 2015（平成27）年の国勢調査によると、高齢夫婦世帯と高齢単身世帯が大きく増加し、総世帯数の約23%を占める状況にあります。（図表2-7）
- 今後もこの傾向は続き、総世帯数が2025年をピークに減少に転じる一方で、2040年には高齢夫婦世帯と高齢単身世帯があわせて1583万世帯となり、総世帯数の30%以上を占めると予測されています。（図表2-7）

【図表2-7 総世帯数と高齢者世帯の推移（全国）】

（単位：万世帯）

	総世帯数 (一般世帯)	うち高齢夫婦世帯		うち高齢単身世帯		合計	
			構成比		構成比		構成比
1985(昭和60)年	3,798	142	3.7%	118	3.1%	260	6.8%
1990(平成2)年	4,067	197	4.8%	162	4.0%	359	8.8%
1995(平成7)年	4,390	276	6.3%	220	5.0%	496	11.3%
2000(平成12)年	4,678	366	7.8%	303	6.5%	669	14.3%
2005(平成17)年	4,906	449	9.1%	386	7.9%	835	17.0%
2010(平成22)年	5,184	525	10.1%	479	9.2%	1,004	19.4%
2015(平成27)年	5,333	608	11.4%	593	11.1%	1,201	22.5%
2020年	5,411	674	12.5%	703	13.0%	1,377	25.4%
2025年	5,412	674	12.5%	751	13.9%	1,426	26.3%
2030年	5,348	669	12.5%	796	14.9%	1,465	27.4%
2035年	5,232	667	12.7%	842	16.1%	1,508	28.8%
2040年	5,076	687	13.5%	896	17.7%	1,583	31.2%

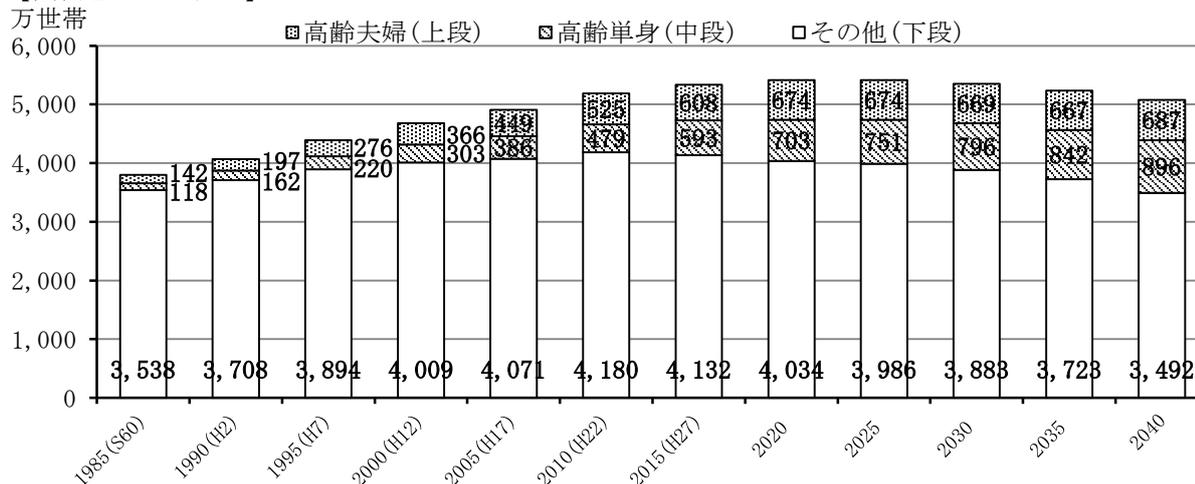
注1：2015(H27)年以前は国勢調査による

注2：2015(H27)年以前の「高齢夫婦世帯」は、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に入所していない世帯）をいう

注3：2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の2018(平成30)年推計による

注4：2020年以降の「高齢夫婦世帯」は世帯主が65歳以上の世帯をいう

【図表2-7 グラフ】



## (2) 京都府の状況

- 2015（平成27）年の国勢調査によると、高齢夫婦世帯や高齢単身世帯が大きく増加し、総世帯数の約24%を占める状況にあり、全国と比べても高い割合を示しています。（図表2-8）
- 今後総世帯数が減少する一方で、特に高齢単身世帯が増加し、2035年には高齢夫婦世帯と高齢単身世帯が総世帯数の約29%を占めると予測されています。（図表2-8）

【図表2-8 総世帯数と高齢者世帯の推移（京都府）】

(単位：世帯)

	総世帯数 (一般世帯)	うち 高齢夫婦世帯		うち 高齢単身世帯		合 計	
			構成比		構成比		構成比
1985(昭和60)年	857,424	38,034	4.4%	32,948	3.8%	70,982	8.3%
1990(平成2)年	893,733	47,776	5.3%	43,416	4.9%	91,192	10.2%
1995(平成7)年	958,252	63,756	6.7%	56,497	5.9%	120,253	12.5%
2000(平成12)年	1,015,468	82,234	8.1%	76,105	7.5%	158,339	15.6%
2005(平成17)年	1,063,907	99,794	9.4%	92,218	8.7%	192,012	18.0%
2010(平成22)年	1,120,440	117,836	10.5%	110,366	9.9%	228,202	20.4%
2015(平成27)年	1,151,422	143,695	12.5%	136,531	11.9%	280,226	24.3%
2020年	1,150,392	146,364	12.7%	163,104	14.2%	309,468	26.9%
2025年	1,137,578	142,104	12.5%	169,713	14.9%	311,817	27.4%
2030年	1,110,280	136,472	12.3%	174,940	15.8%	311,412	28.0%
2035年	1,071,220	132,792	12.4%	179,947	16.8%	312,739	29.2%

注1：2015（平成27）年以前の数値は国勢調査による

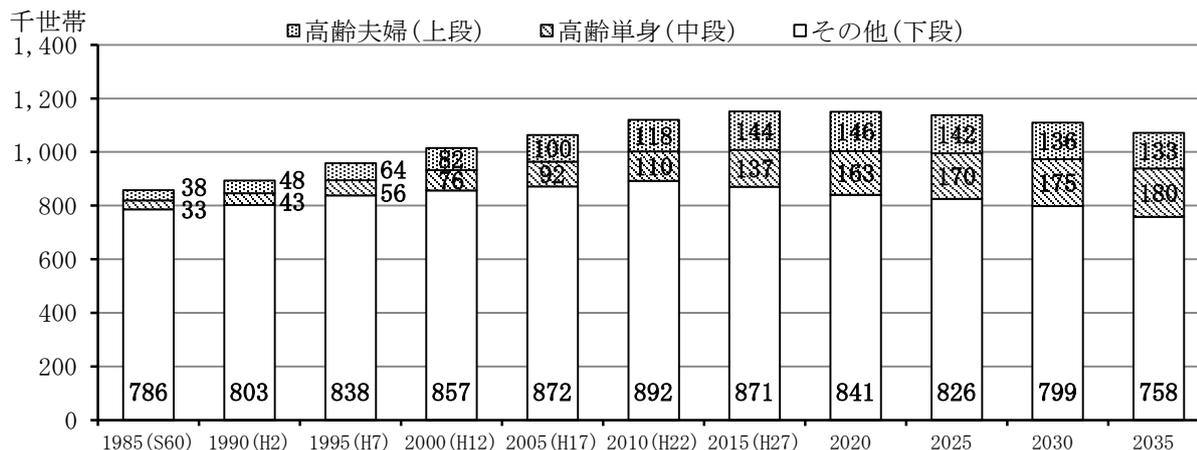
注2：2015（平成27）年以前の「高齢夫婦世帯」は、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に  
入所していない世帯）をいう

注3：2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所の平成26年4月推計による

注4：2020年以降の「高齢夫婦世帯」は世帯主が65歳以上の世帯をいう

## 第2章

【図表2-8 グラフ】



□ 京都府における2015（平成27）年の国勢調査の世帯数を圏域別に比較すると、高年齢夫婦世帯の割合が最も高いのは丹後圏域で16.3%、次いで山城北圏域が15.0%となっています。（図表2-9）

□ また、高年齢単身世帯の割合についても、丹後圏域が最も高く14.5%となっており、次いで中丹圏域が13.6%となっており、特に府北部の割合が高くなっています。（図表2-9）

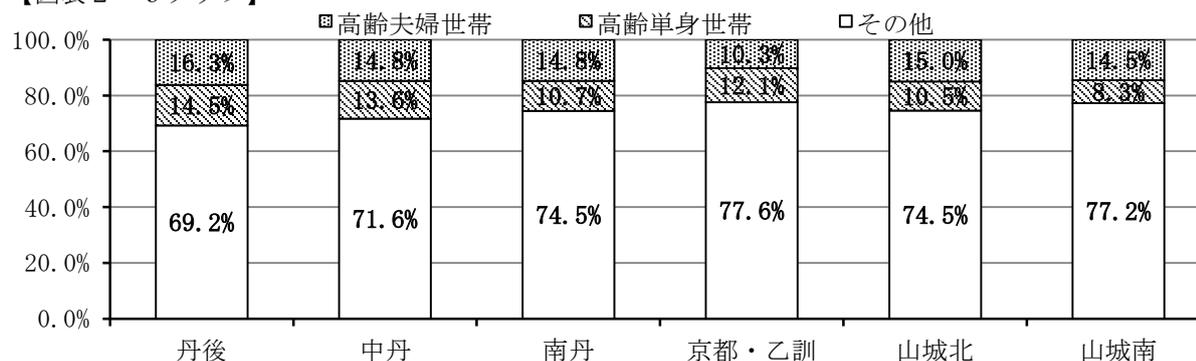
【図表2-9 圏域別の総世帯数と高齢者世帯（京都府：2015(平成27)年度）】（単位：世帯）

	総世帯数	うち高年齢夫婦世帯		うち高年齢単身世帯		合計	
			構成比		構成比		構成比
丹後	37,126	6,043	16.3%	5,378	14.5%	11,421	30.8%
中丹	80,418	11,876	14.8%	10,938	13.6%	22,814	28.4%
南丹	52,028	7,702	14.8%	5,564	10.7%	13,266	25.5%
京都・乙訓	764,923	78,561	10.3%	92,882	12.1%	171,443	22.4%
山城北	174,451	26,192	15.0%	18,259	10.5%	44,451	25.5%
山城南	42,476	6,176	14.5%	3,510	8.3%	9,686	22.8%
合計	1,151,422	136,550	11.9%	136,531	11.9%	273,081	23.7%

注1：数値は国勢調査による

注2：高年齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の一般世帯（施設等に入所していない世帯）をいう

【図表2-9 グラフ】



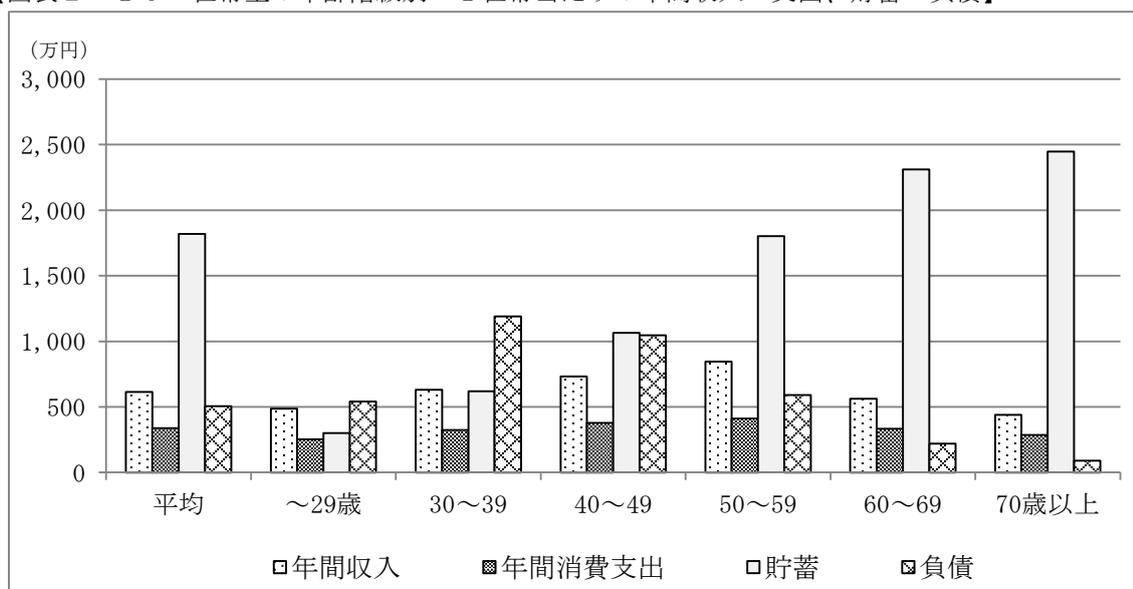
### 3 高齢者の生活と住まいの状況

#### この項目のポイント

- ▶ 高齢者世帯の1世帯あたりの平均所得金額は308万円
- ▶ 世帯主の年齢階級別（二人以上世帯）で見ると、60歳以上の世帯では年間収入は全世帯平均を下回るが、貯蓄額は2千万円を超えている。

- 「国民生活基礎調査」（厚生労働省）によると、平成27年の1世帯あたりの平均所得金額は、全世帯では545万8千円で、高齢者世帯（65歳以上の人のみで構成するか、又はこれに18歳未満の未婚の人が加わった世帯）では、308万4千円となっています。
- 二人以上の世帯を世帯主の年齢階級別に見てみると、年間収入は60～69歳の世帯で564万円、70歳以上の世帯で441万円と全世帯平均の614万円を下回っています。
- 年間消費支出は60～69歳の世帯が333万円で、全世帯平均の339万円とほぼ同額になっています。
- 貯蓄については60～69歳の世帯で2千3百万円を超えています。
- 負債については30～39歳の世帯が約1千2百万円でピークになり、60～69歳の世帯では220万円、70歳以上の世帯では90万円となっています。
- （図表2-10）

【図表2-10 世帯主の年齢階級別 1世帯当たりの年間収入・支出、貯蓄・負債】

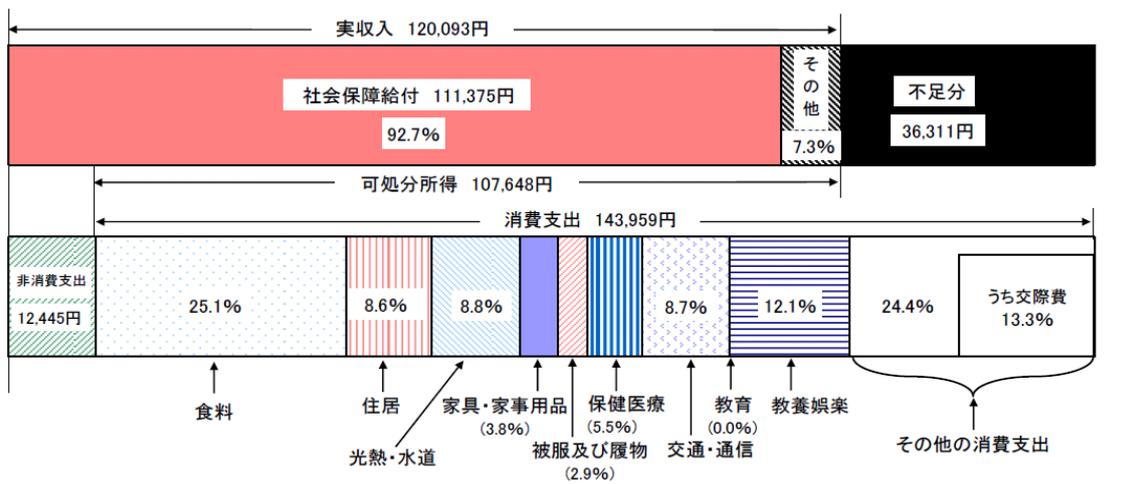


注：数値は総務省「家計調査（二人以上世帯）」（平成28年）による

第2章

- 高齢単身無職世帯（60歳以上の単身無職世帯）の実収入は月額約12万円で、うち可処分所得は約10万8千円となっています。（図表2-11）
- 一方、生活費などの消費支出は約14万4千円で、不足分は、預貯金などの金融資産の取崩しなどで賄われています。（図表2-11）
- 消費支出の内訳を見ると、「食料」、交際費などの「その他の消費支出」、「教養娯楽」などの割合が高くなっています。（図表2-11）

【図表2-11 高齢単身無職世帯の家計収支 平成27年】



注1：総務省「家計調査」（平成28年）による  
 注2：高齢単身無職世帯とは、60歳以上の単身無職世帯である  
 注3：図中の「社会保障給付」及び「その他」の割合（%）は、実収入に占める割合である  
 注4：図中の「食料」から「その他の消費支出」の割合（%）は、消費支出に占める割合である

- 生活保護受給者の推移を見ると、平成27年7月末における65歳以上の生活保護受給者は、全国で97万人、京都府では25,178人で、65歳以上の人口に占める生活保護受給者の割合は全国で2.89%、京都府で3.58%となっています。（図表2-12）

【図表2-12 生活保護受給者の状況】

		H23	H24	H25	H26	H27
全国	65歳以上の生活保護受給者	78万人	83万人	88万人	92万人	97万人
	65歳以上人口に占める割合	2.63%	2.70%	2.76%	2.80%	2.89%
京都府	65歳以上の生活保護受給者	21,063人	22,403人	23,524人	24,087人	25,178人
	65歳以上人口に占める割合	3.37%	3.45%	3.48%	3.44%	3.58%

注：数値は厚生労働省「被保護者全国一斉調査（基礎調査）」による各年7月31日現在の状況である

- 高齢者の住まいの状況については、高齢者のいる世帯のうち持ち家世帯の割合は、高齢夫婦世帯で86.6%、高齢者単身世帯で65.4%となっています。  
(図表2-13)

【図表2-13 高齢者夫婦世帯、高齢者単身世帯の居住の状況（京都府）】

	高齢夫婦世帯	高齢者単身世帯
世帯総数	126,700	125,800
うち持ち家世帯数（持ち家の割合）	109,700（86.6%）	82,300（65.4%）
うち借家世帯数（借家の割合）	16,600（13.1%）	43,200（34.3%）

注1：高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の世帯をいう

注2：高齢者単身世帯とは、65歳以上の単身世帯をいう

注3：数値は、平成25年住宅・土地統計調査による

- また、手すりや段差のない屋内など高齢者設備のある割合は、持ち家で67.9%、借家で42.8%となっています。（図表2-14）

【図表2-14 高齢者のいる世帯のうち、高齢者設備のある割合（京都府）】

	全 体		
	持 ち 家	借 家	
手すりや段差の無い屋内など 高齢者設備のある割合	67.9%	42.8%	63.2%

注：数値は、平成25年住宅・土地統計調査による

## 4 要介護認定者の状況

## この項目のポイント

- ▶ 高齢者数の増加に伴い、全国・京都府とも要介護・要支援認定者が増加
- ▶ 京都府は全国に比べ、軽度者の割合が低い
- ▶ 京都府は全国に比べ、要介護認定率が高い

## (1) 全国状況

- 全国の要介護（要支援）認定者数は、平成29年3月末で約632万人となっています。（図表2-15）
- 高齢者の増加に伴って総数は増加していますが、要介護度別構成割合には大きな変化は見られません。（図表2-15）

【図表2-15 要介護（要支援）認定者数の状況（全国）】

（単位：人）

		H25年3月末	H26年3月末	H27年3月末	H28年3月末	H29年3月末
要支援	1	764,060 (13.6%)	820,065 (14.0%)	871,351 (14.4%)	889,645 (14.3%)	891,758 (14.1%)
	2	765,566 (13.6%)	802,177 (13.7%)	837,658 (13.8%)	858,446 (13.8%)	867,870 (13.7%)
要介護	1	1,045,616 (18.6%)	1,109,834 (19.0%)	1,170,482 (19.3%)	1,220,477 (19.7%)	1,259,834 (19.9%)
	2	989,397 (17.6%)	1,026,236 (17.6%)	1,059,631 (17.5%)	1,080,481 (17.4%)	1,102,791 (17.4%)
	3	743,276 (13.2%)	765,831 (13.1%)	789,874 (13.0%)	809,617 (13.1%)	832,152 (13.2%)
	4	691,749 (12.3%)	708,735 (12.1%)	726,351 (12.0%)	743,913 (12.0%)	764,491 (12.1%)
	5	611,286 (10.9%)	605,126 (10.4%)	602,741 (9.9%)	601,344 (9.7%)	600,834 (9.5%)
計		5,610,950 (100.0%)	5,838,004 (100.0%)	6,058,088 (100.0%)	6,203,923 (100.0%)	6,319,730 (100.0%)
認定率		17.6%	17.8%	17.9%	17.9%	18.0%

注1：数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告年報」による

注2：ただし、平成29年3月末の数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告月報（平成29年3月分）（暫定）」による

## (2) 京都府の状況

- 京都府の要介護（要支援）認定者数は、平成29年3月末で約14万5千人となっており、高齢者の増加に伴い、総数は平成28年3月末と比べて2.5%増加しています。（図表2-16、2-17）
- 要介護度別構成割合は、要支援1～要介護1（軽度者）の占める割合が、全体の45.3%（全国平均47.7%）となっており、全国と比べて2.4%低くなっています。（図表2-16、図表2-17）
- 認定率について見ると、全国に比べ京都府のほうが高い状況となっています。（図表2-16、図表2-17）
- 圏域別の要介護認定者数は、京都・乙訓圏域以南では増加が続いていますが、南丹圏域以北では平成28年度末はほぼ横ばいとなっています。（図表2-17）

【図表2-16 要介護(要支援)認定者数の状況(京都府)】 (単位:人)

		H25年3月末	H26年3月末	H27年3月末	H28年3月末	H29年3月末
要支援	1	15,219 (12.1%)	16,392 (12.4%)	17,254 (12.6%)	18,096 (12.8%)	18,274 (12.6%)
	2	18,469 (14.6%)	19,817 (15.0%)	21,026 (15.3%)	21,712 (15.3%)	22,166 (15.3%)
要介護	1	20,857 (16.5%)	22,131 (16.7%)	22,964 (16.7%)	24,338 (17.2%)	25,236 (17.4%)
	2	24,735 (19.6%)	25,874 (19.6%)	27,203 (19.8%)	27,920 (19.7%)	29,204 (20.1%)
	3	18,399 (14.6%)	19,344 (14.6%)	19,793 (14.4%)	20,356 (14.4%)	20,944 (14.4%)
	4	15,163 (12.0%)	15,612 (11.8%)	15,850 (11.6%)	16,037 (11.3%)	16,325 (11.3%)
	5	13,255 (10.5%)	13,126 (9.9%)	13,112 (9.6%)	13,036 (9.2%)	12,902 (8.9%)
計		126,097 (100.0%)	132,296 (100.0%)	137,202 (100.0%)	141,495 (100.0%)	145,051 (100.0%)
認定率		19.0%	19.2%	19.3%	19.5%	19.7%

注1: 数値は厚生労働省老健局「介護保険事業状況報告年報」による

注2: ただし、平成29年3月末の数値は京都府調査による

【図表2-17 圏域別の要介護(要支援)認定者数の状況(京都府)】 (単位:人)

	合計 (対前年伸率)	丹後	中丹	南丹	京都・ 乙訓	山城北	山城南
H25年3月末	126,097 (105.9%)	7,014 (105.4%)	11,921 (106.2%)	6,584 (104.8%)	78,311 (106.2%)	18,138 (105.1%)	4,129 (106.4%)
H26年3月末	132,296 (104.9%)	7,218 (102.9%)	12,133 (101.8%)	6,971 (105.9%)	82,487 (105.3%)	19,122 (105.4%)	4,365 (105.7%)
H27年3月末	137,202 (103.7%)	7,385 (102.3%)	12,277 (101.2%)	7,200 (103.3%)	85,953 (104.2%)	19,781 (103.4%)	4,606 (105.5%)
H28年3月末	141,495 (103.1%)	7,574 (102.6%)	12,237 (99.7%)	7,423 (103.1%)	89,181 (103.8%)	20,339 (102.8%)	4,741 (102.9%)
H29年3月末	145,051 (102.5%)	7,555 (99.7%)	12,163 (99.4%)	7,389 (99.5%)	91,971 (103.1%)	21,102 (103.8%)	4,871 (102.7%)

注: 数値は京都府調査による

## 第2章

□ 要介護等認定者数は今後も増加すると見込まれ、2020年度の京都府内の認定者数は約15万8千人と、2017（平成29）年3月末と比較して9.2%増加すると推計されます。（図表2-18）

【図表2-18 圏域別の要介護(要支援)認定者数の将来推計（京都府）】 (単位：人)

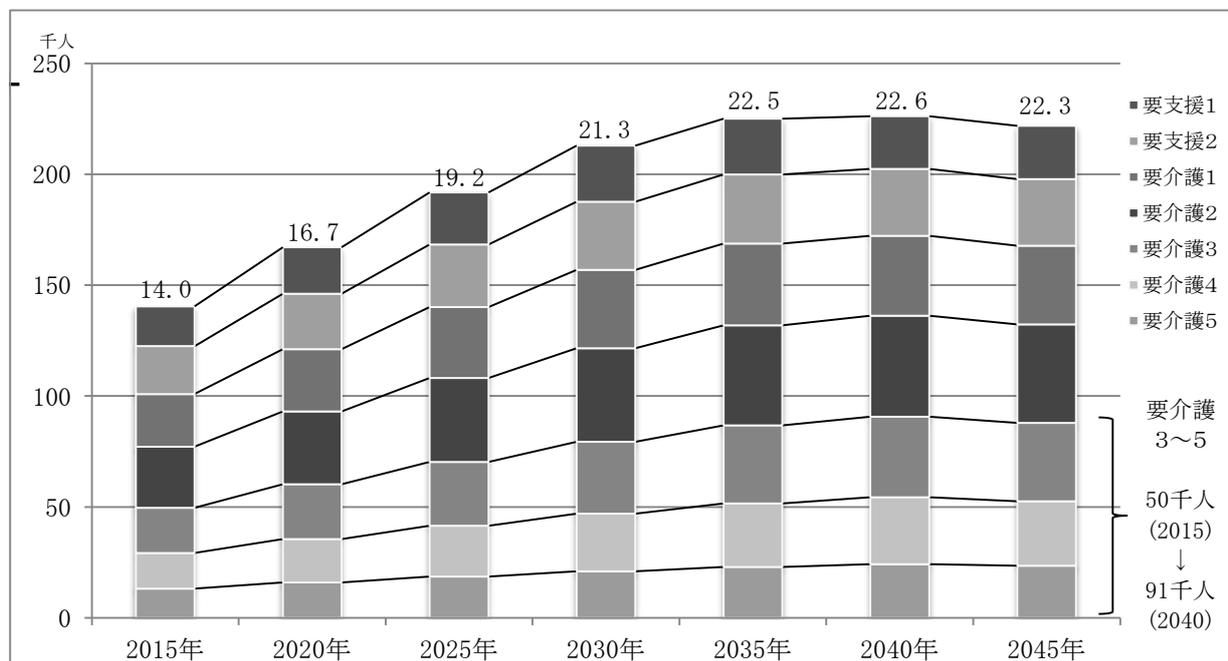
		合 計		丹後	中丹	南丹	京都・乙訓	山城北	山城南
2018 (H30) 年度 (推計)	要支援	1	18,349	1,043	939	1,012	11,553	3,189	613
		2	22,291	1,103	1,645	1,099	14,314	3,412	718
	要介護	1	27,269	1,507	2,342	1,289	17,177	4,107	847
		2	30,437	1,318	2,635	1,398	20,057	4,044	985
		3	22,050	1,099	2,055	1,180	13,820	3,146	750
		4	17,482	935	1,590	974	10,939	2,407	637
		5	13,554	850	1,163	792	8,321	1,933	495
	合 計		151,432	7,855	12,369	7,744	96,181	22,238	5,045
認定率		20.4%	21.7%	19.9%	17.8%	21.8%	17.2%	15.9%	
2019 (H31) 年度 (推計)	要支援	1	18,780	1,043	955	1,038	11,876	3,253	615
		2	22,736	1,105	1,653	1,144	14,602	3,506	726
	要介護	1	27,997	1,518	2,359	1,318	17,599	4,322	881
		2	31,056	1,327	2,653	1,445	20,482	4,134	1,015
		3	22,602	1,111	2,071	1,220	14,197	3,230	773
		4	17,969	946	1,603	1,010	11,276	2,480	654
		5	13,937	856	1,170	809	8,548	2,043	511
	合 計 (対前年伸率)		155,077 (102.4%)	7,906 (100.6%)	12,464 (100.8%)	7,984 (103.1%)	98,580 (102.5%)	22,968 (103.3%)	5,175 (102.6%)
認定率		20.8%	21.9%	20.1%	18.1%	22.3%	17.7%	16.0%	
2020 年度 (推計)	要支援	1	19,160	1,044	962	1,070	12,148	3,311	625
		2	23,127	1,095	1,661	1,183	14,850	3,597	741
	要介護	1	28,643	1,517	2,374	1,350	17,961	4,528	913
		2	31,582	1,326	2,671	1,490	20,844	4,198	1,053
		3	23,086	1,117	2,092	1,260	14,517	3,301	799
		4	18,393	950	1,615	1,041	11,566	2,540	681
		5	14,291	857	1,179	828	8,755	2,138	534
	合 計 (対前年伸率)		158,282 (102.1%)	7,906 (100.0%)	12,554 (100.7%)	8,222 (103.0%)	100,641 (102.1%)	23,613 (102.8%)	5,346 (103.3%)
認定率		21.1%	22.0%	20.4%	18.5%	22.7%	18.1%	16.3%	
2025 年度 (推計)	要支援	1	21,066	1,028	937	1,187	13,392	3,763	759
		2	25,398	1,087	1,665	1,346	16,442	3,997	861
	要介護	1	32,200	1,516	2,600	1,504	19,946	5,519	1,115
		2	35,488	1,325	2,907	1,679	23,169	5,149	1,259
		3	26,095	1,115	2,296	1,428	16,367	3,910	979
		4	20,901	958	1,666	1,143	13,194	3,087	853
		5	15,887	864	1,073	930	9,813	2,565	642
	合 計		177,035	7,893	13,144	9,217	112,323	27,990	6,468
認定率		23.9%	22.9%	22.2%	20.7%	25.7%	21.6%	18.7%	

注1：数値は市町村報告値による

注2：要介護（要支援）認定者数は、第1号被保険者と第2号被保険者の計

- 図表2-6で算出した要介護認定率（年齢階級別・要介護度別）に基づいて、今後の将来推計人口から、要介護認定者数（要介護度別）の長期的な将来推計を試算すると、今後も要介護認定者は増加を続け、2040年には約23万人に達する見込みとなります。（図表2-19）
- 特に、要介護3～5の重度者に着目すると、2040年には2015年の約1.8倍に増加することとなります。（図表2-19）

【図表2-19 要介護認定者数（要介護度別）の将来推計（京都府）〔試算〕】



注1：介護保険事業状況報告平成27年9月月報、京都府統計書（平成27年10月1日現在年齢階級別人口）及び国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成30（2018）年推計）」から試算

注2：要介護認定率を現在の状況で固定した場合の試算であることに留意

## 5 高齢者の受診・疾病の状況

### この項目のポイント

- ▶ 高齢者の受診数が、全体の約半数を占めており、疾病では「循環器系疾患」が最も多い
- ▶ 京都府の高齢者医療費は全国平均と比較して高水準

### (1) 受診者総数等の状況

- 平成26年患者調査（全国編）によると、全国の高齢者の受診者総数は約445万人であり、患者数の52.0%となっています。（図表2-20）

【図表2-20 患者数の状況（全国）】

	入院	外来	合計
患者数	131.9万人	723.8万人	855.7万人
うち65歳以上	93.7万人 (71.1%)	351.0万人 (48.5%)	444.7万人 (52.0%)

注：数値は厚生労働官房統計情報部「平成26年患者調査（全国編）」による

- 京都府内の高齢者の受診者総数は約9.0万人で、患者数の55.7%と約6割を占める状況であり、全国より高い数値となっています。（図表2-21）

【図表2-21 患者数の状況（京都府）】

	入院	外来	合計
患者数	2.9万人	13.3万人	16.2万人
うち65歳以上	2.2万人 (76.1%)	6.8万人 (51.3%)	9.0万人 (55.7%)

注：数値は厚生労働官房統計情報部「平成26年患者調査（全国編）」による

- 高齢者の入院に係る傷病別の状況をみると、「循環器系疾患」が21.0%と最も多く、次いで「精神及び行動の傷害神経系疾患」が12.8%、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」がそれぞれ12.3%となっています。（図表2-22）

【図表2-22 高齢者の入院に係る傷病別の状況（京都府）】

	第1位	第2位	第3位
傷病分類名 (構成比)	循環器系疾患 (21.0%)	精神及び行動の傷害 神経系疾患 (12.8%)	損傷、中毒及び その他の外因の影響 (12.3%)
主な傷病	高血圧性疾患 脳血管系疾患	統合失調症 神経症性障害 ストレス関連障害	骨折

注：数値は京都府健康福祉統計「平成26年患者調査」による

## (2) 高齢者医療費の状況

- 平成27年度の京都府の高齢者医療費の総額は約3,324億円となっており、1人当たり高齢者医療費は、1,024,824円で全国第13位と全国的にも高水準となっています。（図表2-23、2-24）

【図表2-23 高齢者の医療費の状況（京都府）】

	H25年度	H26年度	H27年度
高齢者医療費総額	3,118億円	3,190億円	3,324億円
給付件数	847万件	872万件	904万件

注：数値は厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」による

【図表2-24 高齢者の1人当たり医療費の状況（全国上位）】

1位	2位	3位	13位	47位	全国平均
福岡県	高知県	北海道	京都府	新潟県	
1,195千円	1,184千円	1,103千円	1,025千円	756千円	949千円

注：数値は厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」による

